



はやさかアドバイザーの

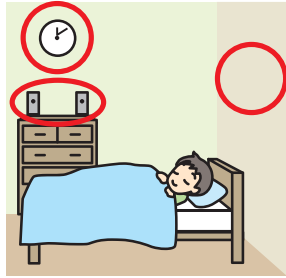
わくわく

防災クイズ

かい せつ
答えと解説

③ 防災・減災に投資すること

問1 答え

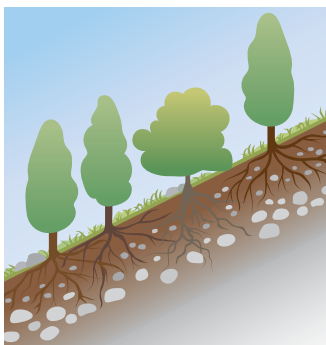


地震によるけがの多くは、建物の倒壊だけでなく、家具の転倒や落下物によって発生します。家具の固定や、落下しやすい物を置かないことが大切です。自宅の安全対策には時間やお金がかかりますが、地震が起きた後にけがをしたり、大切な物が壊れたりすることを考えると大きな効果が期待できます。

問2 答え

A 木の根が土を支えているからです。

森林には、土砂災害や洪水の被害を減らす働きがあります。木の葉や幹にも雨を受け止める役割がありますが、土砂災害を防ぐうえで特に重要なのが、土をしっかりと支える木の根です。森林を守り育てることも大切な防災・減災への投資です。自然の力を上手に生かすことは、災害による被害を減らすことにつながります。



木の根っこが土砂災害を防いでくれているよ

④ 災害に備え、より良い復興につなげること

問3 答え

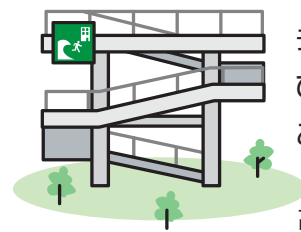


シェイクアウト訓練はアメリカで生まれ、仙台市などが取り入れている地震防災訓練です。「①まず低く②頭を守り③動かない」という三つの安全行動を取り、地震の揺れから身を守ります。災害による被害を減らすためには、定期的に避難訓練や防災訓練を行い、いざというときに正しい行動がとれるよう備えておくことが大切です。

問4 答え

B が津波避難タワーです。

津波避難タワーは、津波が発生したときに近くに高台がない地域でも、できるだけ早く高い場所へ避難できるように整備された施設です。東日本大震災の教訓をふまえ、仙台市沿岸部にも複数の津波避難タワーが整備されま



した。災害に備えるためには、過去の災害で何が起きたのかを学び、その教訓を次の対策に生かすことが大切です。

高い場所に逃げることを「垂直避難」と言うよ

なかの
中野5丁目津波避難タワーを
探検しよう！ここを
案内するよ！屋上には太陽光で発電するソー
ラーパネルが設置されているよ高さ
9.9メートルスロープは手すりがない2段
になっていて子どもたち
も安心して上れるよ避難スペースには
食料や毛布などの
備蓄品があるよ

- 日時：9月19日(土)午前10時～11時30分
- 会場：中野5丁目津波避難タワー(仙台市宮城野区中野5丁目2番)
- 定員：小中学生の親子10組程度
- 申し込み締め切り：9月13日(日) ★申し込みは1面のQRコードから

今回のクイズはいかがでしたでしょうか？
「防災への投資」「より良い復興」と少し難しい言葉が並びましたが、「しっかりと時間やお金をかけることが大事なんだ」「過去の災害にはどんな教訓があるんだろう」と思ってもらえればうれしいです。
「より良い復興」は英語で「ビルド・バック・ベター」。防災の分野では世界共通の言葉として広まっています。問4で紹介した津波避難タワーも「より良い復興」を形にした事例の一つです。
今では、さまざまな地域で津波避難タワーが建てられています。東日本大震災が発生した時はこうした施設がなく、高台がない地域では津波から避難するのにとても苦労しました。
津波避難タワーを見学する9月19日の防災イベントでは、普段は入ることができないタワーの内部を案内します。自分の目で見ることで、初めて分かること、感じられることがあります。ぜひ参加してみてください。

早坂 政人 はやさか まさと

2003年、仙台市消防局入庁。消防隊員として消火・救急活動のほか、防災・減災や火災予防を地域に呼びかける業務を経験する。20年4月から市危機管理局減災推進課勤務。消防司令。43歳。

ワンポイント
レッスン

はやさかアドバイザーの